



2024年6月期 決算補足資料

2024年8月14日

ID&Eホールディングス株式会社

証券コード：9161

受注高・売上収益・各利益ともに計画を達成、過去最高を更新。

連結業績

- 受注高は3セグメント（コンサルティング、都市空間、エネルギー） **いずれも好調に推移し、前期比で増加。**
- 売上収益は3セグメントいずれも着実に成長し、**増収。**
- 営業利益は、コンサルティング事業とエネルギー事業の本業の稼ぐ力が貢献。特殊要因を除いた**コア営業利益※においても計画を達成。**

※コア営業利益は、IFRS基準以降の営業利益（又は損失）から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出。

(単位：百万円)	23/6期 実績	24/6期 実績	前期比		業績予想	予想対比	
			増減	比率		増減	比率
受注高	139,265	161,357	22,092	115.9%	155,000	6,357	104.1%
売上収益	141,527	158,983	17,455	112.3%	156,000	2,983	101.9%
売上総利益	42,346	50,415	8,069	119.1%	45,000	5,415	112.0%
営業利益	6,080	14,124	8,043	232.3%	11,100	3,024	127.2%
コア営業利益	7,831	12,031	4,199	153.6%	11,100	931	108.4%
税引前利益	6,373	15,264	8,890	239.5%	11,100	4,164	137.5%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,093	9,677	6,584	312.8%	7,100	2,577	136.3%

当社は2023年7月3日付で単独株式移転により設立され、当第1四半期連結累計期間より第1期としてはじめて要約四半期連結財務諸表を作成していますが、従前の日本工営株式会社の連結グループの範囲に実質的な変更がないことから、日本工営の2023年6月期連結累計期間および同連結会計年度末（2023年6月30日）を比較情報として用いています。なお、比較に際して当社子会社である株式会社エル・コー・エイをコンサルティングセグメントからその他に変更しています。

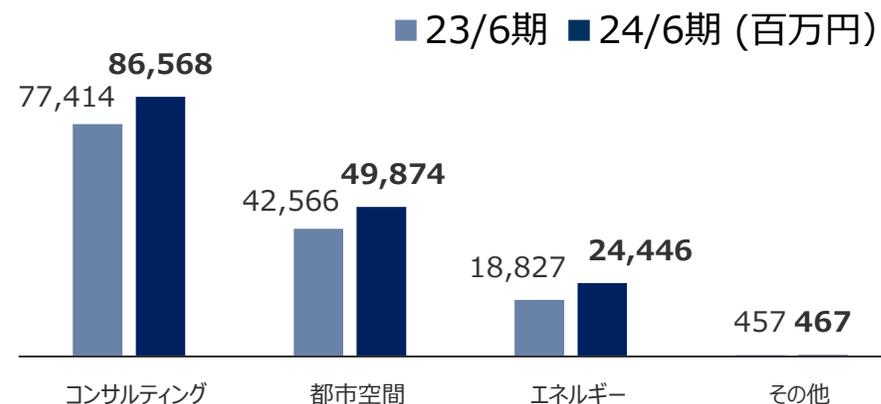
セグメント別実績

(単位：百万円)	23/6期 実績	24/6期 実績	前期比		予想対比
			増減	比率	
受注高	139,265	161,357	22,092	115.9%	104.1%
コンサルティング	77,414	86,568	9,154	111.8%	100.7%
都市空間	42,566	49,874	7,308	117.2%	116.0%
エネルギー	18,827	24,446	5,619	129.8%	94.0%
その他	457	467	10	102.3%	-
売上収益	141,527	158,983	17,455	112.3%	101.9%
コンサルティング	81,519	85,488	3,968	104.9%	97.1%
都市空間	38,071	44,460	6,388	116.8%	105.9%
エネルギー	20,855	27,925	7,070	133.9%	111.7%
その他	1,080	1,109	28	102.6%	110.9%
営業利益	6,080	14,124	8,043	232.3%	127.2%
コンサルティング	6,501	10,647	4,145	163.8%	143.9%
都市空間	▲946	1,968	2,914	-	72.9%
エネルギー	2,974	2,470	▲504	83.0%	112.3%
その他	▲2,449	▲961	1,488	-	-

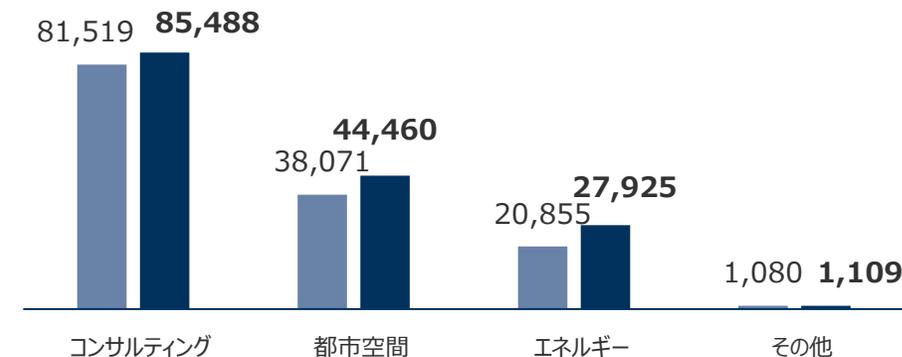
※組織再編・分社化に伴い、従来「その他」で負担していた本社分の各社経営管理費用を2024年6月期よりセグメント毎で負担する計上方法に変更しています。

※2024年6月期に株式会社エル・コーエイをコンサルティングセグメントからその他にセグメント変更しました。2023年6月期も変更後の報告セグメントに基づき作成したものを記載しています。

受注高



売上収益



営業利益



コンサルティング事業

- 受注高 : 国内の国土強靱化関連・防衛関連業務の受注が寄与し、前期比増。
- 売上収益 : 国内外とも手持ち案件が着実に進捗し増収。
- 営業利益 : 主に海外部門で円安・インフレの影響で外注費等が増加し利益の押し下げがあったが、国内や現地法人がカバーし増益。資本参加先の株式上場に伴う評価益約21億円を計上。

都市空間事業

- 受注高 : BDPグループの英国・カナダやインドでの大型受注が寄与し、前期比増。
- 売上収益 : 主にBDPグループにおいて手持ち案件が順調に進捗し、増収。
- 営業利益 : BDPグループの売上増加が寄与し増益、黒字転換を達成。

※ 2024年6月期実績レート 1 £ = 189.01円 (2023年6月期実績レート 1 £ = 166.40円、2024年6月期計画レート 1 £ = 163.69円)

エネルギー事業

- 受注高 : レベニューキャップ制度※による電力設備関連の更新需要により前期比増。
- 売上収益 : 手持ちの大型発電所案件を順調に進捗し増収。
- 営業利益 : 前期に当社関連会社であったPT.ARKORA HYDRO株式の売却益および有価証券運用益の計上等 (約19億円) があった反動により減益だが、売上増によるスケールメリットや、利益を生み出す体制へと改善により計画を達成。

※ 一般送配電事業者が、事業計画および投資・費用の見通しを策定し、国の審査を経て承認を受けたいうで、託送料金を設定するもの。

受注高・売上収益・コア営業利益は過去最高更新を目指す。デジタル・人財への先行投資を計画。

(単位：百万円)	24/6期 実績	25/6期 計画	前期比	
			増減	比率
受注高	161,357	168,000	6,642	104.1%
コンサルティング事業	86,568	94,000	7,431	108.6%
都市空間事業	49,874	47,000	▲2,874	94.2%
エネルギー事業	24,446	27,000	2,553	110.4%
売上収益	158,983	165,000	6,016	103.8%
コンサルティング事業	85,488	90,000	4,511	105.3%
都市空間事業	44,460	47,000	2,539	105.7%
エネルギー事業	27,925	27,000	▲925	96.7%
その他	1,109	1,000	▲109	90.1%
営業利益	14,124	12,200	▲1,924	86.4%
コンサルティング事業	10,647	8,100	▲2,547	76.1%
都市空間事業	1,968	3,000	1,031	152.4%
エネルギー事業	2,470	2,400	▲70	97.2%
その他	▲961	▲1,300	▲338	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	9,677	7,300	▲2,377	75.4%
ROE	11.3%	8.0%	▲3.3pt	-

コア営業利益での比較

24/6期は資本参加先の上場による評価益等を計上。一方で25/6期は特殊要因は織り込んでいない。

▼コア営業利益での24/6期実績と25/6期計画の対比

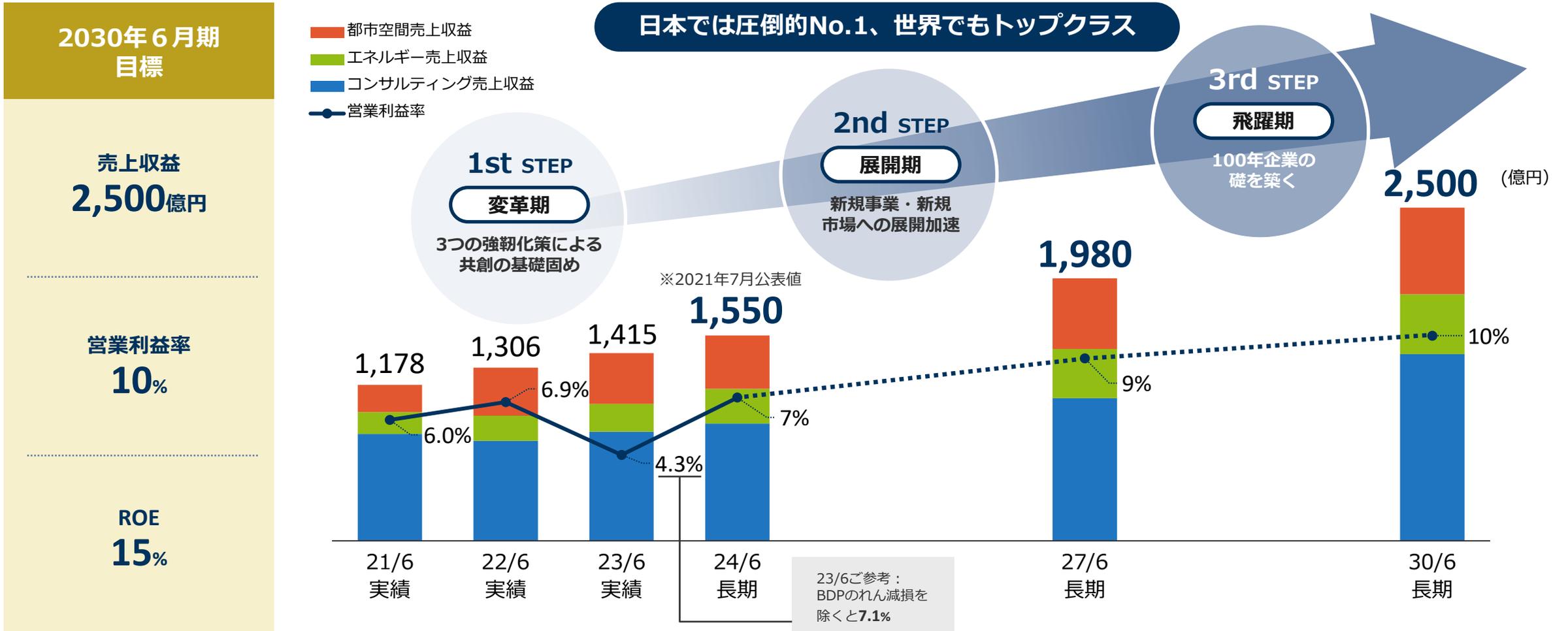
(単位：百万円)	24/6期 実績	25/6期 計画	前期比 増減
コア営業利益	12,031	12,200	168
コンサルティング事業	7,814	8,100	285
都市空間事業	2,341	3,000	658
エネルギー事業	2,897	2,400	▲497
その他	▲1,022	▲1,300	▲277

中期経営計画 Building Growth 2027

(2024年7月～2027年6月)

ID&Eグローバル戦略2030

—共創。限界なき未来に挑む—



名称	中期経営計画 (2024/7-2027/6) Building Growth 2027						
基本方針	主力3事業の持続的成長と事業間の共創による事業領域の拡大						
定量目標	<table border="1"><tr><td>2027年6月期 目標</td><td>連結売上収益 1,980億円</td><td>営業利益 180億円</td><td>営業利益率 9%</td><td>ROE 12%</td></tr></table>	2027年6月期 目標	連結売上収益 1,980 億円	営業利益 180 億円	営業利益率 9%	ROE 12%	
2027年6月期 目標	連結売上収益 1,980 億円	営業利益 180 億円	営業利益率 9%	ROE 12%			
展開策	<table border="1"><tr><td>1 成長に向けた改革</td><td>収益性向上に向けた3事業におけるポートフォリオマネジメントの推進</td></tr><tr><td>2 マトリクス経営の展開</td><td>ID&E体制によるマトリクス経営の推進</td></tr><tr><td>3 人財・技術の進化</td><td>人財育成、先端技術開発、品質管理強化によるID&Eブランド・クオリティの体現</td></tr></table> <ul style="list-style-type: none">■ サステナビリティ経営戦略■ ガバナンス■ 財務戦略	1 成長に向けた改革	収益性向上に向けた3事業におけるポートフォリオマネジメントの推進	2 マトリクス経営の展開	ID&E体制によるマトリクス経営の推進	3 人財・技術の進化	人財育成、先端技術開発、品質管理強化によるID&Eブランド・クオリティの体現
1 成長に向けた改革	収益性向上に向けた3事業におけるポートフォリオマネジメントの推進						
2 マトリクス経営の展開	ID&E体制によるマトリクス経営の推進						
3 人財・技術の進化	人財育成、先端技術開発、品質管理強化によるID&Eブランド・クオリティの体現						

(単位：百万円)	2024/6期 実績	2027/6期 計画	増減	増減率
受注高	161,357	195,000	33,643	120.8%
売上収益	158,983	198,000	39,016	124.5%
営業利益	14,124	18,000	3,875	127.4%
コア営業利益	12,031	18,000	5,968	149.6%
営業利益率 ※ () 内はコア営業利益率	8.9% (7.6%)	9.0% (9.0%)	0.1pt (1.4pt)	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	9,677	12,000	2,322	124.0%
ROE	11.3%	12.0%	0.7pt	-

(単位：百万円)	2024/6期 実績	2027/6期 計画	増減	増減率
受注高	161,357	195,000	33,643	120.8%
コンサルティング事業	86,568	108,000	21,431	124.8%
都市空間事業	49,874	54,000	4,125	108.3%
エネルギー事業	24,446	33,000	8,553	135.0%
売上収益	158,983	198,000	39,016	124.5%
コンサルティング事業	85,488	107,000	21,511	125.2%
都市空間事業	44,460	54,000	9,539	121.5%
エネルギー事業	27,925	36,000	8,074	128.9%
その他	1,109	1,000	▲109	90.1%
営業利益	14,124	18,000	3,875	127.4%
コンサルティング事業	10,647	10,500	▲147	98.6%
都市空間事業	1,968	4,000	2,031	203.2%
エネルギー事業	2,470	5,000	2,529	202.4%
その他	▲961	▲1,500	▲538	-
コア営業利益	12,031	18,000	5,968	149.6%
コンサルティング事業	7,814	10,500	2,685	134.4%
都市空間事業	2,341	4,000	1,658	170.8%
エネルギー事業	2,897	5,000	2,102	172.6%
その他	▲1,022	▲1,500	▲477	-



IRに関するお問い合わせ

ID&Eホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション室

TEL:03-5276-2454 MAIL:c-com@n-koei.co.jp

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものでありますが、実際の業績等はさまざまな要因により、大きく異なることが起こりえます。